

岩手県盛岡市の店舗分布の変化から見る都市の利便性

岩手大学 学生会員 ○武田岳 岩手大学 正会員 平井寛
岩手大学 正会員 南正昭

1. 研究背景と目的

居住地選択のメカニズムを明らかにすることは効率的な都市計画を行う上で非常に重要である。居住地選択に関する先行研究は非常に多く、住宅¹⁾、商業施設²⁾、交通、政策、性別³⁾、ライフステージなど様々な面から研究がおこなわれているが、コンビニエンスストアやスーパーマーケットといった店舗（以下、日用品店舗）と居住地選択との関係性の研究は多くなく、中でも地方都市を対象とした研究は少ない。

居住地選択の重要な要因の一つに、地域の利便性が挙げられる。その中で、日用品店舗が近隣にあるか否かは地域の利便性を測るうえで重要なファクターとなる。

また居住地選択のメカニズムは、その地域に居住する期間にも大きく影響される。そのため、長期間の居住を想定した世帯（ex. 持家世帯）と比較的短期間の居住を想定した世帯（ex. 民営借家世帯）とでは求める居住環境は異なると考えられ、上記の日用品店舗との関係も異なると考えられる。

本研究では、岩手県盛岡市を対象として時系列の店舗データと国勢調査を用いて、各時点のスーパーマーケットの商圏内の世帯数を調査し、盛岡市における居住地選択の特徴と利便性の変化についての考察を目的とする。

2. 方法

2-1. 対象地域と使用したデータ

対象地域は時系列比較のため平成 18 年に編入された旧玉山村を除く盛岡市全域とする。用いるデータは 1997 年、2002 年、2007 年、2012 年の 4 時点の i タウンページから作成する事業所データベース、2000 年、2005 年、2010 年の国勢調査小地域とする。

2-2. 研究方法

まず盛岡市全域に立地している 4 時点のスーパーマーケット店舗を GIS（地理情報システム）上に投影し、商圏の時間的な変化を分析する。商圏は徒歩での買い物を想定して徒歩 10 分圏内とし、歩行速度は毎分 80m と仮定して、GIS の Network Analyst を用いて算出する。

その後、国勢調査小地域の世帯数と照らし合わせ、スーパーマーケットの商圏内の持家世帯数と民営借家世帯数の違いを調査し、考察する。商圏内の世帯数は先に算出した商圏と国勢調査小地域の重なる部分の面積割合から算出する。また、一般世帯とは持家、公営の借家、都市再生機構・公社の借家、民営借家、給与住宅、間借り世帯を合計したものである。

3. 結果

3-1. スーパーマーケットの商圏の推移

盛岡市内におけるスーパーマーケットの店舗数と商圏の変化を図 1、図 2、図 3 に示す。4 時点の比較では店舗数、商圏面積ともに 1997 年が最も多く、広がっている。2012 年には若干の商圏面積の増加が見られるが、1997 年と比較すると 3 km²ほど縮小している。

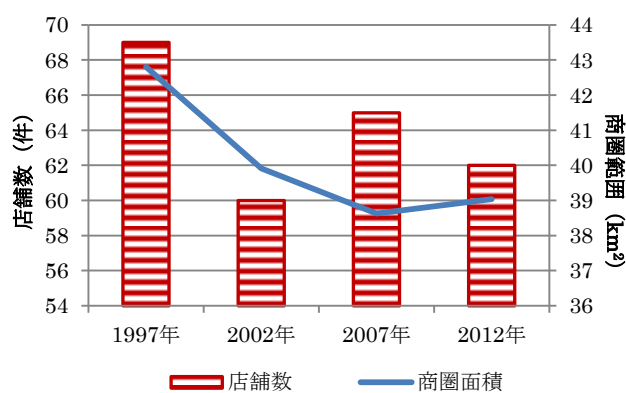


図 1 スーパーマーケットの店舗数と商圏面積

キーワード：居住地選択、商圏、民営借家世帯

連絡先：岩手大学工学部 岩手県盛岡市上田 4 丁目 3-5 TEL：019-621-6453 FAX：019-621-6460

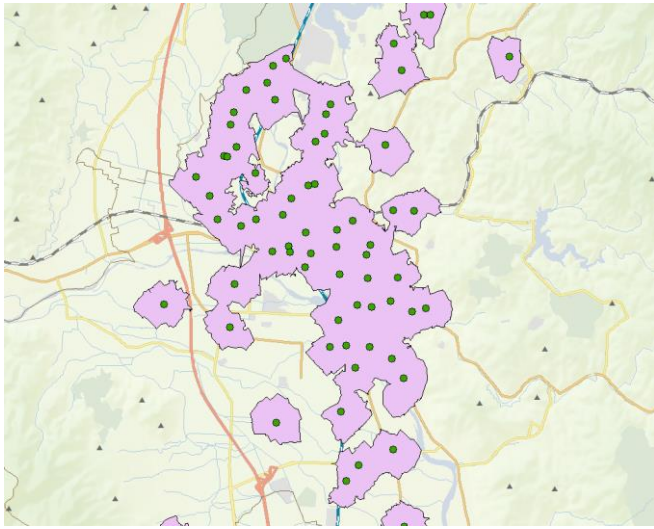


図2 スーパーマーケットの分布と商圈（1997年）

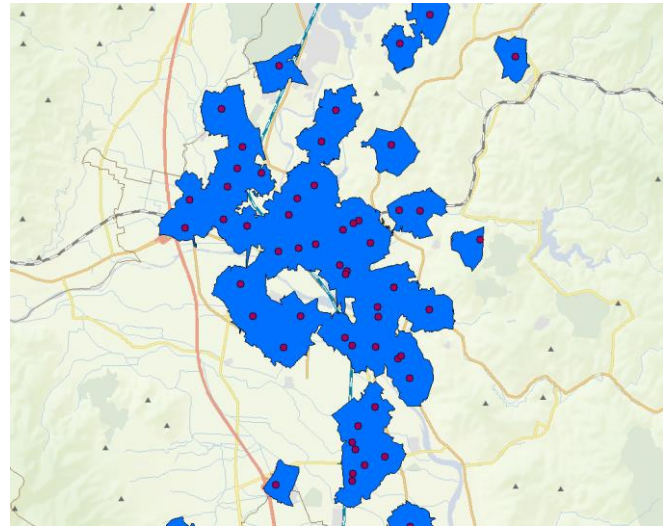


図3 スーパーマーケットの分布と商圈（2012年）

3-2. 持家世帯と民営借家世帯の違い

スーパーマーケットの商圈内の持家数と民営借家数を表1に示す。商圈内の世帯の盛岡市全体に占める割合は年々減少傾向にある。特に民営借家世帯割合の減少が最も顕著である。また、全時点において民営借家世帯の割合が持家の割合に比べて高くなっている。

4. 結論

盛岡市におけるスーパーマーケットの商圈の面積は2012年に若干拡大したものの、商圈内の世帯割合は年々減少傾向にあることから、盛岡市内の日常生活における利便性は低下傾向にあると考えられる。

また、調査した4時点ではすべて持家世帯に比べて民営借家世帯のカバー率が高かったことから、比較的居住期間が短期的だと考えられる世帯がスーパーマーケットの近くに居住地を選択する傾向があると考えられる。

しかし、民営借家世帯の商圈内割合は年々減少傾向にある。これには2つの要因が考えられ、1つ目は日用品店舗が地域の利便性、ひいては居住地選択に与える影響が小さくなってきたということ、2つ目はスーパーマーケットの減少、集中により、商圈のカバー範囲が縮小したことである。

本研究の結果には上記2つの要因が複合的に影響を及ぼしていると考えられるが、今後は2つの要因を分離することで、居住地選択の傾向を明らかにすることができる可能性がある。

表1 商圈内の世帯数と全体に占める割合

		1997年	2002年	2007年	2012年
一般世帯	盛岡市全体	106099	109425	114161	121011
	商圈内	75068	73835	76961	76842
	割合	0.708	0.675	0.674	0.635
持家世帯	盛岡市全体	52253	56031	60016	64311
	商圈内	32860	33910	37066	37908
	割合	0.629	0.605	0.618	0.589
民営借家世帯	盛岡市全体	40595	40407	41679	45141
	商圈内	32667	31108	31546	31764
	割合	0.805	0.770	0.757	0.704

[参考文献]

- 1) 富田和暁：大都市における新時代の居住地選考，大阪商業大学論文集，第5巻，第1号，pp173-188.
- 2) 橋本亮，倉橋透，樋口秀，馬場美智子：商業施設の立地が人口分布の変化に与える影響に関する考察，土木計画学研究講演集 CD-ROM, vol.35, pp285, 2007.
- 3) 由井義通，若林芳樹，中澤高志，神谷浩夫：働く女性の居住地選択と都市空間，E-journal GEO, vol.2 (3), 2007.